工事監理状況報告書(木造軸組工法)

令和7年7月1日作成 高崎市

中間検査

(あて先) 建築主事 令和 年 月 日

確認済証番号	令和 年 月 日 第 号	確認機関名
" (変更)	令和 年 月 日 第 号	確認機関名
工事場所	建築主氏名	

上記、工事中の建築物の工事監理状況について、建築基準法12条5項の規定により次のとおり報告します。

報告者	☐ 工事監理者	会社住所
	☐ 工事施工者	会社名
		報告者名

確認事項	確認を行う照合内容	照合方法※1	照合結果※2	備考
		A:目視 B:計測 C:その他		
1 確認表示板(法89)	1 建築確認表示板の設置	A	適:不適	
2 工事現場の危害の防止(90条)	1 仮囲い、防護ネット、山留	A	適:不適	
3 敷地の衛生及び安全(法19)	1 がけ・擁壁の安全性、敷地の衛生及び安全	A : B : C	適:不適	
4 敷地と道路の関係 (法40 42 43)	1 道路の幅員	A : B : C	適:不適	
	2 道路に接する敷地の長さ	A : B : C	適:不適	
	3 敷地内通路、専用通路の幅及び長さ	A : B : C	適:不適	
	4 2項道路の後退	A : B : C	適:不適	
5 敷地形状、容積率、建ぺい率 (法52~54)	1 敷地形状及び高低差	A : B : C	適:不適	
	2 基礎形状・建物形状	A : B : C	適:不適	
	3 建物配置(道路、隣地からの離れ)	A : B : C	適:不適	
6 斜線制限 (法56)	1 建築確認図書の立面図との照合	A : B : C	適:不適	
	2 道路、隣地、北側敷地境界線からの後退距離の確認	A : B : C	適:不適	
7 基礎・地盤(令38、告示1347)	1 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法 ()	A : B : C	適:不適	
	2 地耐力が得られなかった場合の措置について 措置の内容 ()	A : B : C	適:不適	
	3 基礎種別の確認(☐ 連続 ☐ べた ☐ 独立 ☐ 杭)	A : B : C	適:不適	
	4 各部材の形状、寸法の確認	A : B : C	適:不適	
	5 配筋の確認(径、間隔、かぶり、継手、定着、貫通補強等)	A : B : C	適:不適	
8 居室の床の高さ及び防湿方法(令22)	1 床の高さ、床下換気口又これに代わる措置	A : B : C	適:不適	
9 主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)	1 木材、コンクリート、鉄筋、屋根材、外壁材、接合金物等の種類・品質・形状・寸法	A : B : C	適:不適	
10 土台(令42)	1 基礎との緊結(アンカーボルトの位置・接合方法)	A : B : C	適:不適	
11 柱(令43)	1 柱の小径、有効細長比	A : B : C	適:不適	
	2 すみ柱又はこれに準ずる柱	A : B : C	適:不適	
12 横架材(令44)	1 中央部下側の欠込み	A : B : C	適:不適	
13 筋かい(令45)	1 形状・寸法	A : B : C	適:不適	
	2 欠込み部の補強	A : B : C	適:不適	
14 構造耐力上必要な軸組等(令46)	1 耐力壁の配置(壁量計算書、軸組のバランスチェックシートとの照合)	A : B : C	適:不適	
	2 火打材	A : B : C	適:不適	
	3 小屋組の振れ止め	A : B : C	適:不適	
15 構造耐力上主要な部分である継手又は仕口(令47)	1 筋かいの端部における仕口(筋かいプレートによる接合)	A : B : C	適:不適	
	2 軸組の柱脚・柱頭の仕口(ホルダウン金物等による緊結)	A : B : C	適:不適	
	3 その他の継手又は仕口	A : B : C	適:不適	
16 防腐防蟻措置(令49)	1 防腐・防蟻措置(土台・柱・筋かい)	A : B : C	適:不適	
17 その他		A : B : C	適:不適	

確認事項	確認を行う照合内容	照合方法※1		照合結果※2	備考
		A:目視			
		B:計測			
		C:その他			
※3		A : B : C	適 : 不適		
		A : B : C	適 : 不適		
		A : B : C	適 : 不適		
		A : B : C	適 : 不適		

その他の照合方法	
	※4

検査に用意する図書の例 ※5	確認関係図書	■確認申請図書 ■告示第1347号による基礎構造図
	工事監理記録	■支持地盤確認 ■基礎配筋検査 ■軸組検査 ■その他検査・確認
	使用材料の品質を示す書類 (写真も可)	■鉄筋・鉄骨ミルシート ■コンクリート納入書・試験結果等 ■木材納品書 ■その他使用材料品質証明書
	その他	■工事写真 ■各種施工結果報告(杭・地盤改良等) ■各種施工要領書

検査に用意する工事写真の例	材料	・構造耐力上主要な部分(鉄筋などの中間検査時に見えない箇所)	
	施工状況 (適切な工事監理の実施が確認できれば、全箇所ではなく種類毎の写真提示も可)	基礎	・支持地盤の状況
			・基礎配筋の状況(底盤、立上り、開口補強、配管用スリーブ等)
			・アンカーボルト(ホールダウン用、土台用)の設置状況(埋め込み長さ、フック)
			・型枠施工状況(各部の寸法等)
	木造の部分	・接合部に応じた接合具の種類、本数	
・耐力面材に用いられる接合具の種類、間隔			

※1 照合方法は、A : B : Cに○印を記入して下さい。(該当しない項目は記入しないで下さい)

※2 照合結果は、「適」・「不適」のいずれかに○印を記入してください。工事施工者が注意に従わなかった場合は「不適」に○印を記入し、建築主に対し報告した内容を備考に記入して下さい。

※3 確認事項の項目にないものは、「17その他」の欄に記入してください。例として、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載してください。

※4 照合方法が「C:その他」の場合は、その項目番号とその他照合の動作や試験結果成績書等による具体的方法を記入して下さい。

※5 「■」の図書について、該当する工事が無い場合は用意不要です。